

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達支援ルームしどれ (児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	令和7年12月2日		～ 令和8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	49件	(回答者数) 23件
○従業者評価実施期間	令和7年12月2日		～ 令和8年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7件	(回答者数) 7件
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月4日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	粗大運動や感覚遊びを通し、楽しい環境の中でお子さんの目標に合わせてチャレンジできる環境がある。	・子どもの評価を継続的に行い、一人ひとりに合わせた療育が提供できるようにしている。 ・遊びが固定化しないようにしている。	・スペースが限られていたり、複数のお子さんで療育室を使用することもあるので、活動内容の工夫とお子さんの目標に向けての段階付けを行い、達成感が得られる活動の組み立てを行っていく。
2	保護者と、子どもの状況を伝え合う時間として、療育後にフィードバックの時間をとっている。	・毎時間療育の終了時に保護者の方へフィードバックの時間を取っているが、数分のため、しっかり相談する時間を取りたい要望のある方には家族支援として面談のご提案をしている。	・お子さんの変化や成長に気付き、毎回のフィードバックを丁寧に行うことで、保護者とスタッフでともに悩み、ともに喜ぶ関係を構築していけたらと考えている。 ・家族支援の周知をさらに行っていく。
3	個別対応のため、子どもの特性等にに応じた支援を行うことができる。	・多職種で連携しながら療育を行っているため、お子さんに合わせて多角的な評価を行うことができている。	・関わる人の幅や活動内容を広げるために、担当制としていないため、職員間で情報共有や支援の方向性の統一を今まで以上に行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の場が少なく、事業所内で機会を設けることができていない。	療育中など、保護者の方が重なる時間が限られており、スタッフもお互いの交流を図るような声掛けができていない。	就学相談会など、保護者同士の交流が図れる機会がある際は、積極的な案内を行っていく。 社内でイベントなどの企画を話し合う。
2	地域の住民の方や、お子さんとの交流の場がない	事業所内のみでの療育を行っていることもあり、地域の方との協力や交流が持てていない。	お子さんやご家庭の目標やニーズに合わせて、保護者の方とも話ながら、地域や社会と関わる機会が設けられるよう、社内で検討したい。
3	お子さんを巻き込んだ避難訓練が実施できていない。	社内で避難訓練を行っているが、療育が入っていない時間のことが多く、利用者さんがいる想定で行えていなかった。	社内だけでなく、事業所単位で避難訓練を行い利用者さんがいる状況で避難訓練を行い、職員全員が対応できるようにしていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 発達支援ルームしどれ (児童発達支援)

公表日

令和8年2月6日

利用児童数

49件

回収数

23件

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	○				すぐ近くに公園があるので公園で遊んでも良い気もします。	ご意見ありがとうございます。所内で検討させていただきます。現在は限られた場所になりますが、安全にしっかり動くことができるよう、努めてまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	○					
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	○				入口(下駄箱)付近が夏ごろ足の臭いがあるのでカーペットを消臭して欲しいです	ご意見ありがとうございます。消臭剤などを活用して、対策していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	○					
適切な 支援 の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	○				どの先生も子供の特性をよく知ってくださり、専門的知識、技術を使いながら、優しく丁寧に関わってくださって有難いです。	ご意見ありがとうございます。これからも一人ひとりの特性に合わせた支援を行います。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	○					
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	○					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	○					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	○					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	○					
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。				○		
保護	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	○					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	○					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	○					
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	○					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	○					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	○					

者への説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。				○	保護者同士の交流の機会を増やして欲しい。低年齢の子どもも参加しやすく、保護者も一緒に参加できるイベントがあるとうれしいです。保育園に通ってはいませんが、保育園でも保護者同士で話すこともないので、他のご家庭ではどんなふうにご覧しているのかなどいろいろ気軽に交流できたらいいと思います。	ご意見ありがとうございます。ご要望を受け、家族への研修会等を実施する際は、保護者への周知を行います。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	○					
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	○					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	○					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	○					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。				○		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。				○		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	○					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	○					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	○				しどれさんの看板が見えるとうれしくなったり表情が変わります。	ご意見ありがとうございます。安心感をもって来所いただけるように支援してまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	○				・今日はしどれ？といつも行くのを楽しみにしています。 ・楽しみにしています。しどれ行く？と聞いて来ます。 ・いつも子どものやりたいことを先生方が一生懸命応えてくださり、感謝しております。	ご意見ありがとうございます。これからもしどれに来所されることが楽しみとなるような時間が提供できるよう、職員一同頑張っております。
	29	事業所の支援に満足していますか。	○					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		発達支援ルームしどれ (児童発達支援)				公表日	令和8年2月6日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			利用児が多いと、活動する場所に困ることがある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			壁紙や床など視覚的な刺激が多いかなと思うことは少しある(利用児の特性によって)。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		利用児の特性に合わせて、クッションで仕切りを作ることで刺激を減らすなど心地よい空間作りを行っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○				
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			職員個人によってできているかどうかの差がある	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○				
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		療育前にスタッフ間で相談しながら、担当以外のスタッフも利用児の療育について考える機会がある。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		全てではないが、複数人で活動する際には多職種で活動内容を考えている。		

提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			できている時間と、そうでない時間がある。 1日枠の時などは個人で支援内容を決めている時もある
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		時間は設けていないが、各スタッフ同士で振り返りができている。	来ていない時もある
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			会議の場所や使用する交通機関によっては担当職員が参加することが難しい場合があるため、使用できる交通機関を明確に提示してほしい(距離や時間も含めて)。
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			保護者や園の先生によって、できているご家庭とそうでないご家庭に分かれている。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			保護者の方や小学校の先生から相談があり動くことはあるが、事業所側が率先して動いている事例はまだ経験がない。
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		あまりないと感じる
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		フィードバックの合間に、利用児の近況を聞いている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○				
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○				

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		保護者の思いや生活の様子を書いてもらう聞き取り用紙と現在の評価をもとに作成し、作成後は要点を中心に説明をしている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		スタッフから現状の聴取を行うこともある。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		カルテ庫の開閉、スタッフルームの開閉に留意している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		月1の安全点検にて、職員間で情報の共有を行っている。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		療育室の施設などが必要なお子さんには、個別支援計画書に記載をしている。	

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達支援ルームしどれ (放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	令和7年12月2日		令和8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	141件	(回答者数) 70件
○従業者評価実施期間	令和7年12月2日		令和8年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7件	(回答者数) 7件
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月4日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	粗大運動・感覚入力ができる活動だけでなく、カード・ボードゲームを通して社会性・コミュニケーションへのアプローチも行きやすい療育形態であること。	・子どもの評価を継続的に行い、一人ひとりに合わせた療育が提供できるようにしている。 ・遊びが固定化しないよう工夫している。	・他者との関わり方や、自身の理解が深まるよう関係性が取れている大人からの客観的な意見や振り返りを行い、日常生活で活かせるような支援を目指していきたい。
2	保護者と、お子さんの状況を伝え合う時間として、療育後にフィードバックの時間をとっている。	・毎時間療育の終了時に保護者の方へフィードバックの時間を取っているが、数分のため、しっかり相談する時間を取りたい要望のある方には家族支援として面談の提案をしている。	・お子さんの変化や成長に気付き、毎回のフィードバックを丁寧に行うことで、保護者とスタッフでともに喜び、悩む関係を構築していけたらと考えています。 ・家族支援の周知をさらに行っていく。
3	個別対応のため、子どもの特性等に合わせた支援を行うことができる。	・多職種で連携しながら療育を行っているため、お子さんに合わせて多角的な評価を行うことができている。 ・一对一の個別療育なので、お子さんに合わせて関わり方を柔軟に変更することができる。	・関わる人の幅や活動内容を広げるために、担当制としていないため、職員間で情報共有や支援の方向性の統一を今まで以上に行っていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の場が少なく、事業所内で機会を設けることができていない。	療育中など、保護者の方が重なる時間が限られており、スタッフもお互いの交流を図るような声掛けができていない。	・親子イベントなど保護者同士の交流が図れる機会がある際は、積極的な案内を行っていく。 ・社内でイベントなどの企画を話し合う。
2	利用頻度が希望よりも少なくなってしまう。	ご利用を希望してくださる方が多いこと、児発→放デイに移る方もたくさんいてくださるため、放デイ(特に土日)の定期的な予約枠の確保が年々難しくなっている。	・固定予約の他に、スポットでのご利用、キャンセル待ちでのお誘いなどを積極的に行っていく。 ・療育だけでなく、ご家庭や学校でできる活動や関わりの提案を積極的に行い、日常生活の支援に繋げていけるよう、質の高い療育を行いたい。
3	療育室のスペースが狭い。	小学校高学年以上になると。身長も高くなって、よりダイナミックな活動を求めるお子さんが多いため、少し物足りない場面があるのでは、と考えている。	・活動内容を工夫し、動き以外にも考える要素などコミュニケーション面・認知面の要素も加えながら、お子さんにあった活動設定や段階付けを行えるよう目指す。 ・時間帯によっては、個室と療育室に分かれて使用することで、スペース確保を行う。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 発達支援ルームしどれ (放課後等デイサービス)

公表日 令和8年2月6日

利用児童数 141名 回収数 70件

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動するには狭い</li> <li>・いつも元気に広々活動させてもらっています</li> <li>・複数人いるときにはもう少し余裕があっても良いかと思う。</li> <li>・もう少し広さがあるとより、身体が動かせていいと思う</li> </ul>	ご意見ありがとうございます。場所は限られていますが、しっかり身体を動かすことが出来るように工夫していきます。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>・マンツーマンどころか、1人に数人ついでくださる時もあり、個別療育ながら色々な先生と関わらせていただいています</li> <li>・適切かどうかはわからないのですが、いつも沢山の先生がおられて、その日の担当の先生以外の先生も遊びに加わって下さったり、お手伝いして下さったりしていつもありがたいです。</li> <li>・会わない先生もいるので何人いらっしゃるのかわかりません</li> <li>・子ども1人に、職員さんが1人以上ついでくださり、ありがたいです</li> </ul>	ご意見ありがとうございます。お子さんやご家族のニーズに合わせて、丁寧な関わりを続けてまいります。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>・柔らかいマットがひいてあるので、体幹が弱くても安心して過ごせます。</li> <li>・入室していないので分かりません</li> </ul>	ご意見ありがとうございます。粗大運動を行うことができますので、今後も安全に活動出来るよう環境を整えていきます。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	○				クッション、ボールなどきれいかわ不明	ご意見ありがとうございます。定期的な掃除を行っています。ボール類はアルコールで消毒し、拭いています。	
適切な支援の提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>・成功体験を積むため、子どもの好きなことや得意なことを重視し、流動的に色々なことをさせて頂いていると思います。</li> <li>・子どもの言動などで、先生方が何かしらの違和感を感じられたり、またよく分からないことがあっても、スルーされて、その場をやり過ごしていらっしやるんじゃないかと感じる事があります。保護者としては、そういう時こそ療育のチャンス、専門性を活かした関わり方で子供自身に意見し、アシストできるのでは、と感じます。先生の違和感や想い(それは社会一般の反応だと思います)を正直に伝えて下さり、それで本人の気づきや、良い経験につながれば次に活かせる。それこそ自信につながるのではと思います。</li> <li>・終わったあとのお話から感じます。</li> <li>・以前お話しした内容も覚えてくださっていて、その悩みに対してどうアプローチしていくかもお話いただくのでとても心強いです</li> <li>・担当者がよく変わるので、我が子の事を十分に理解しているかはわからない</li> </ul>	療育中のスタッフの対応に至らぬ点があり、申し訳ございませんでした。ご意見をいただきありがとうございます。お子さんからの表出をしっかり受け止めながら、時には表現の仕方や距離感などのアドバイスを第三者視点として伝えていき、気付きや日常生活でのコミュニケーションに活かしているよう、目指していきます。また、お子さんの様子等で分からないことがあった時には保護者の方に伺いながらやりとりをさせていただきたいです。スタッフ同士で情報共有を行いながら、幅広い支援が行えるよう、目指していきます。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	○						
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	○					提出した書類や毎回のフィードバックの際に伝えていることが個別支援計画に反映されていると思います。	ありがとうございます。これからも伺った内容を個別支援計画に活かしていきますので、何か気になる事があれば教えていただけますと幸いです。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	○						
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	○						

保護者への説明等	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	○						
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。				○	・希望していない ・いつもこの質問の意味がわからないのですが、しどれとして他の児童館などと交流する、ということであれば、いいえですが、子供が放課後にしどれとは別で交流しているか、ということであればはい、です	同時間を利用しているお子さん同士の交流はありますが、地域の方との交流機会は持っていないのが現状です。	
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	○						
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	○						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	○				・いつも楽しそうな企画のチラシをいただきますが、お任せするスタイルだからか高額と感じます。親同伴でも、同じくらの学年の子同士の交流ができる場面などもあれば嬉しいです ・就学前に先輩保護者のお話を聞ける機会があったのはとても勉強になりました。中学や高校に進学する時もそういう機会がありましたらぜひお話しをおうかがいしたいと思っております。 ・勉強会があるなら参加したい	ご意見ありがとうございます。現在しどれでは保護者様の参加可能な研修会は行っておりませんが、必要な情報提供ができるようこれからも家族支援を行っていきます。	
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	○						
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	○						
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	○						
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。			○	○	・いつもいただくイベントのチラシがそれなのであれば、はい、だと思えます。 親や兄弟が参加できるのかはわかりませんが ・保護者会などはわかりませんが、イベントの企画はいつも沢山して下さっていると思います。 ・保護者同士の交流会などであると嬉しい	ご意見ありがとうございます。現在、保護者の方向士のイベントは開催できていない現状です。親子で楽しめるイベントや、保護者交流などの機会の検討をしていきます。	
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	○					いつも丁寧に相談に乗っていただいています ありがとうございます。これからも引き続き力になれるように相談させていただきますと幸いです。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	○						
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	○					・以前のように月に一回の通信の方が情報が得やすいです。 ・以前のペースで通信がある方が嬉しいです。(月に一回)	ご意見ありがとうございます。頻度は少なくなりましたが、その分内容を充実させてお伝えしていきたいと考えております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	○						
	非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。				○	訓練を療育中に行っているか、ということであればいいえ、ですが、よくわかりません	ご意見ありがとうございます。非常時のマニュアルについては策定しており、保護者の方が見ることが出来るようにいたします。
24		事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。				○	・わかりません ・避難訓練は実施されているのでしょうか？1時間のみ利用なので分かりません。	ご意見ありがとうございます。災害を想定した避難訓練について、社内全体で実施しております。	
25		事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	○						

	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	○				
	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	○				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・放デイのお友達と遊ぶことをいつも楽しみにしています。</li> <li>・とても楽しみにしています 自分でやることを選べるのが嬉しいそうです</li> <li>・しどれをとっても楽しみにしています！</li> </ul>	ご意見ありがとうございます。これからも楽しみにしていただけるように、職員一同がんばってまいります。
満足度	29	事業所の支援に満足していますか。	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつもありがとうございます。</li> <li>・家族に情報共有していただき、家族の意見を取り入れていただきながら個別の対応をしていただいていると思います。本人も楽しみに通っています。</li> <li>・他の事業所に比べ、子供の特性に沿った支援をしていただけており、とても満足しています。子供も、しどれへの通所を楽しみにしています。</li> <li>・月一度の利用なので、月二回の固定にしていただけたらありがたいです。</li> </ul>	ご意見ありがとうございます。限られた時間にはなってしまいますが、お子様と保護者様に寄り添った療育ができるよう、「おひとりおひとりの色を大切に」支援してまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		発達支援ルームしどれ (放課後等デイサービス)			公表日	令和8年2月6日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			利用人数によっては活動場所に困ることはある。 高さが足りないと感じることがある
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			利用児の特性によっては、壁紙等視覚的な刺激が多いかなと思うことはある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎朝の開所業務にて、ごみ取りや机拭きを行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		緊張の強い利用児に対してや、クールダウンに使用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル (目標設定と振り返り) に、広く職員が参画しているか。	○			できている職員とそうでない職員に差がある。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者には、直接話を聞き取ることで意向などを把握している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的に研修会を行い、療育の内容向上に努めている。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			個人で考えて支援する時もある

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			毎年行っている各事業所の遊び紹介以外でも、遊びや活動の紹介があっても良いと思います	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○				
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○				来ていない時もある
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○				
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○				
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○				
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	○				
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○				
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○				
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○				送迎がないため、行事等がある際には学校でのご様子を保護者の方を通して聞いている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○				現状、連携が十分に取れていないこともある。保護者の方からの情報提供でお聞きしている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○				情報提供書を作成するなど、情報共有を行っている。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○				
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○				
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○			
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○					
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○					
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○				
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○				
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○				

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		その場で返事が出来ないときは、次回来所の際にまとめてお伝えすることもある。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○			
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		利用児の特性や全体像を捉える事で、関わり方に繋げている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		保護者より事前に聞くなど、発作があった時の対処など情報共有を行っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事故報告書を作成し、スタッフ間で周知を行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○				

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達支援ルームしどれ（保育所等訪問支援）		
○保護者評価実施期間	2025年10月1日		～ 2025年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	2025年10月1日		～ 2025年12月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○訪問先施設評価実施期間	2025年10月1日		～ 2025年12月31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 24
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月31日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門職が、現状の課題や原因、解決策などを具体的に提案できる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフ間での情報共有や相談により、支援が偏らないように配慮している。</li> <li>・参考書や文献を確認し、根拠のある支援を意識している。</li> <li>・療育先等との情報共有を行っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学会や法人内の勉強会などへの参加</li> <li>・保護者支援の質の向上のための勉強会参加</li> </ul>
2	訪問先施設と家庭の間に入り情報共有をする第三者としての立場が確立できている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の思いを、訪問先の立場や役割も考慮した上で伝えるようにしている。</li> <li>・訪問先施設の先生方、保護者との信頼関係の構築を目指し、肯定的な言葉がけを行っている。</li> <li>・礼節を弁えた行動を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左記の取り組みを継続的に実施する</li> </ul>
3	継続的な支援により、変化を追いやすい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当制により、全体像を捉えて変化にも気付けるようにしている。</li> <li>・担当変更の場合は、詳細な記録での申し送りを行っている。</li> <li>・進学等により訪問先が変更となる場合も、情報共有ははじめその後の訪問支援も継続的に実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左記の取り組みを継続的に実施する</li> </ul>

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者の望む訪問頻度を確保できていない現状があり、子どものタイムリーな状況を把握しきれていないことがある。	・ニーズに対する訪問支援員の不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人員の充足</li> <li>・法人内での訪問支援員の育成</li> <li>・子どもの状況の把握については、適宜モニタリングの連絡を設けること</li> </ul>
2	保育所等訪問の利用希望があっても、契約に至っていないケースが複数ある。	・ニーズに対する訪問支援員の不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人員の充足</li> <li>・法人内での訪問支援員の育成</li> </ul>
3			

公表

## 保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 発達支援ルームしどれ（保育所等訪問支援）

公表日 令和8年 2月 6日

利用児童数

35名

回収数

12件

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	○					
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	○				・いつも家に来てお話ししているのだからありません。	・事業所には2つの個室があり、プライバシーには留意しております。
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	○					
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	○				・こちらが希望している回数よりは少ないが、訪問時には担任と相談の上決めているようなのでどちらともいえない。	・ご家庭のご希望とご本人のご様子を踏まえ、最善の頻度で訪問支援を行えるように調整してまいります。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	○					
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思えますか。	○					
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思えますか。	○					
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思えますか。	○				・私の意向が反映されていますが、担任とも認識は共通していると思います。	ご本人のご様子とご家庭のご希望をもとに、訪問先施設の先生とも共有したうえで計画を立案するように心がけております。
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思えますか。	○					
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思えますか。	○					
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思えますか。	○					
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	○					
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	○					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	○				・研修会等開催されているかわかりません。	定期的な家族支援プログラムは実施しておりませんが、今後開催する際にはご案内いたします。
	15	必要ときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思えますか。	○				・訪問後の面談で最近の様子はお伝えできているが、訪問の頻度が少ないため子どものその時の困り感を伝える機会が少ない。	施設訪問の予定のない時期にも定期的にご様子を伺わせていただき、必要に応じて支援を提供できるように努めてまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	○					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思えますか。	○				・いつも丁寧に話を聞いていただき、共感して接して下さるので、とてもありがたいです。	ご意見ありがとうございます。今後も安心してご相談いただける関係づくりを大切に、より良い支援につなげてまいります。
18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	○						

	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	○					
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	○					
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	○					
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	○					
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	○				・保育所等訪問支援の方は定期的に情報発信等されているかわかりません。	活動概要についての発信は定期的には行っておりません。自己評価の結果は公表しておりません。分かりやすい発信に努めてまいります。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	○					
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	○					
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	○					
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	○					
	28	事業所の支援に満足していますか。	○				・お世話になって3年たちます。報告を聞く日が楽しみなくらい、親子でありがたく支援していただいています。いつも親身になって、相談に乗ってくださるので感謝しかありません。 ・長くお世話になっていて心強いです。	温かいお言葉をたくさんいただき、誠にありがとうございます。今後もお気持ちに寄り添いながら、ご本人も保護者様も、ともに安心して過ごしていただける支援を大切にし、より良い関わりにつなげてまいります。

公表

## 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				
発達支援ルームしどれ（保育所等訪問支援）		令和8年 2月 6日				
チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的にわかりやすく、取り入れやすいものですか。	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状の課題や原因、解決策などを具体的に提案していただけるので、取り入れやすいです。</li> <li>・保護者の方の学校にはなかなか言いにくいことでも、間に入っていただくことで本音などを聞き出せるので、保護者と教員をつなぐ役割としてとてもありがたいと思います。</li> </ul>	今後も訪問先施設の状況も踏まえたうえで、具体的なご提案ができるように努めてまいります。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・とても幅広い知識をもっておられるので、学ばせてもらうことが多いです。</li> <li>・具体的に児童の困り感や、こうの方がいいというアドバイス、保護者の思いを、こちらの思いも受け止めてもらいながら話ができるのがありがたいです。</li> </ul>	引き続き専門性の向上に務めながら、実践に繋がる支援を積み重ねてまいります。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつも丁寧に聞き取りや観察をして、具体的に改善策を提案してくださるのでありがたいです。</li> <li>・継続的に支援されているので、成長や課題についてわかりやすく回答してくださいます。保護者、本人、学校、それぞれの立場に立ち、より良い方向に向くような話をしてくださいます。</li> </ul>	丁寧な聞き取りと継続的な関わりを大切にしながら、関係される皆さまそれぞれの立場に寄り添ったサポートを心掛けてまいります。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・提案された方法で支援を行った結果を共有し、継続的に助言や支援をしていただいたことで、児童や教師の課題や困りごとが解消しました。</li> <li>・アドバイスをもらった上で、まだ色々試している途中なので、改善に向かっていけるといいなと思っています。</li> <li>・自分が気になっていることについて、共感や具体的な助言をいただくことができる。</li> <li>・お互いに情報を共有でき、保護者の方にとって、学校だけでなく第三者の視点で様子を伝えてくれるので、より多面的に児童の様子を見ることができるとありがたいと思います。</li> </ul>	支援の中での取り組みや変化を共有しながら、課題の軽減や新たな気づきにつながっていることを大変嬉しく受け止めております。今後も情報共有と連携を大切にしながら、より良い支援につなげてまいります。
5	事業所からの支援に満足していますか。	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問回数や訪問日時等、こちらの都合を優先して柔軟に対応してくださるので、助かります。また、様子を尋ねる電話を時々してくださるので、相談しやすいです。</li> <li>・いつもの確で分かりやすいアドバイスをありがとうございます。継続した支援の中で成長を感じております。</li> <li>・いつも、こちらの気持ちにも寄り添っていただき、適切な指導をしていただいて、感謝しています。ありがとうございます。</li> <li>・これからもよろしく願っています。</li> </ul>	この度は温かいお言葉をいただき、誠にありがとうございます。今後もお気持ちに寄り添いながら、分かりやすく実践につながる支援と、安心して相談していただける関係づくりを大切にしております。
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		発達支援ルームしどれ (保育所等訪問支援)					公表日	令和8年 2月 6日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点		
環境・ 整備・ 運営・ 体	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	○		書籍など確認しながら支援を行っている。			
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・もう少し訪問員を配置できると、ニーズに対してリアルタイムに対応できると感じる。 ・利用希望者は増加傾向にある。	法人内での人員配置や職員教育の検討を行います。		
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○					
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年に一度実施し、振り返りを行っている。			
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		月に1度ミーティングを行うほか、適宜面談を実施している。			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	実施していない			
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		法人単位での勉強会を月に3～4回開催している。			
適切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○					
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		主担当のアセスメントをもとに作成している。			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○					
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○					
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		行動の背景をJSI-RIにて評価するほか、聞き取りと観察を実施している。			
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○					
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○					
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		担当制のため必ずではないが、困ったときには相談するようにしている。	担当以外のスタッフも交えて意見交換を行い、支援の質の向上につなげるためのシステム作りを検討していきます。		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		担当制のため必ずではないが、困ったときには相談するようにしている。			
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○						
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		施設訪問だけでなく、日々の連絡や情報共有も記録している。				

関係機関や保護者との連携	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		本人と保護者を中心に共有している。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。		○	現在は参加していない。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
保護者等への説明等	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		就学相談会などの家族を対象とした研修の機会を設けている。	
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に必ず実施している。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		初回訪問時や電話連絡時、新年度などの節目に実施している。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
訪問先施設への	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		HPやInstagramなどを活用して法人の情報を発信している。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		伝え方やタイミングに留意している。	
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		必要に応じて、事業の説明などの場を設けている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		報告書を必ず作成し、説明している。	

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			

事業所名

発達支援ルーム しどれ

支援プログラム

作成日

年

月

日

法人（事業所）理念	「一人ひとりの色（個性）を大切に」を理念に運営しています。子どもたちが個性という一人として同じではない色や音を放ち輝き、社会の中で素敵なお曲を奏でるまで見守り支援していく、奏音はその役割を担ってまいります。				
支援方針	主に感化統合理論に基づいた療育を行っており、前庭覚や固有覚、触覚などの感覚刺激を遊びに取り入れて提供しています。子どもたちが遊びを通して能動的に感覚を入力することで、感覚の偏りを減らし、生活での困難さを改善していけるように支援を行っています。				
営業時間	10時	0分	19時	0分	送迎実施の有無 なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お子さんの発達段階に合わせた活動を行うことで、健康な心と体を育て、安心して日常生活を送ることができるよう支援を行います。</li> <li>・遊びの中で身体を操作することや、楽しく生活動作を経験することで、食事・更衣・排泄動作など生活に必要な動作が身に着くように目指します。</li> <li>・活動を通して、感覚探求の充足や覚醒レベルの安定を図り、生活リズムの安定に繋がります。</li> </ul>			
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの感覚特性を評価し、それを踏まえて環境や活動内容の調整を行うことで、発達の土台を作ります。</li> <li>・運動遊びを通して、姿勢の安定や、運動コントロールの上達を図り、日常生活動作の基盤となるように支援を行います。</li> <li>・必要に応じて、生活場面で課題となる運動(道具操作や運動課題など)を行い、発達段階に合った練習方法を提案します。</li> </ul>			
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お子さん自らが活動・環境に関わり、能動的に行動することで様々な経験を積めるように機会を設けていきます。</li> <li>・活動を通して感覚入力を行い、周囲から必要な情報を収集し、見通し・予測するための手立てとなるよう支援を行っていきます。</li> <li>・発達段階に合わせて、色や数などの概念理解や、文字や計算などの学習課題が習得できるように、遊びやプリント課題を行います。</li> <li>・一人ひとりの特性に合わせた情報提示(視覚支援、構造化など)を工夫し、活動やルールへの理解を促します。</li> </ul>			
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者と活動を共有しながらコミュニケーションを取ることで、安心して相手との関わりを持てるように促します。</li> <li>・動作や場面に合わせた声掛けを行うことで、具体的な事柄と言葉の意味を結びつけていきます。</li> <li>・ジェスチャーやカードなどお子さんにあったコミュニケーション方法を一緒に考え、生活の中でのやり取りに活かせるように支援を行います。</li> <li>・他児とのやり取り場面では、スタッフが仲介して相手の様子や気持ちに注意が向くように声掛けを行い、気付きを助けます。</li> </ul>			
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人の発達段階に合わせて、スタッフや他児と一緒に活動に参加する機会を作ることで、社会性の発達を促します。</li> <li>・生活場面で取り組む遊びや活動を事業所内で練習することで、安心して活動に参加できるように支援を行います。</li> <li>・活動を通してスタッフとの信頼関係を築き、生活場面や将来の心配を聞き取ったり、具体的な練習が行えるようにサポートします。</li> <li>・他者との関わりや、スタッフの声掛けを通して、自分の気持ちや行動の理解を深め、場面に合わせて気持ちや情緒の調節ができるように支援を行います。</li> </ul>			
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご家族が安心して子育てを行うことができるように、生活場面や将来の課題、心配を聞き取り、支援内容の検討を行います。</li> <li>・療育内容や本人の様子をご家族にお伝えする時間を設けることで、お子さんの成長への気づきを促したり、支援の共有を行い、家庭と連携して支援に取り組んでいきます。</li> </ul>	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同年代のお子さんや日々の集団生活を楽しく、安心して過ごすことができるよう、他者との関わりや遊びを想定した活動を行います。</li> <li>・療育での様子や必要な手立てを園や学校と共有し、共通した支援が行えることを目指します。</li> </ul>		
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者会議への出席や、園や学校等との情報共有にて、包括的な支援を行える環境を作ります。</li> <li>・お子さんの課題に応じて、買い物や散歩などの活動を取り入れ、地域と関わる機会を作ります。</li> </ul>	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所内、法人内の勉強会を月に複数回実施しています。</li> <li>・新入職員を対象に、教育プログラムを実施しています。</li> <li>・必要に応じて、外部研修の受講を積極的に勧めています。</li> <li>・学会等への参加の機会を設けています。</li> </ul>		
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節行事(ハロウィンパーティー、クリスマス会など ※事業所毎の開催となります)</li> <li>・保護者相談会等(定例：就学相談会)</li> <li>・グループ法人株式会社ToyBoxのイベントへのお誘い</li> </ul>				